

基本理念	実施方針	項目	測定項目	項目	活動指標	測定値 R7	実施方針	めざす姿・社会的変化・成果	評価	今後の対応	
基本理念「学びの場からつながる場へ」	① 図書館を核とした身近な読書環境づくりを進めます	1 経営・運営・管理状況に関する評価	2 図書館の適切な経営に関する評価	3 業務統計	1 図書館費決算額	137,880 千円	① 図書館を核とした身近な読書環境づくりを進めます	①図書館を核とした身近な読書環境づくりを進めます 社会的変化・成果 ・総合計画に掲げた数値目標を達成している。 ・長期にわたり安定した良質なサービスが提供できる体制が整備されている。 ・先進事例の研究により、サービスの向上につながっている。 ・業務統計におけるサービス数量の管理ができている。 ・図書館サービスを維持・向上できるよう予算が確保されている。 ・職員の防犯、防火、個人情報保護などリスクへの研修や対応が図られており、安全性、信頼性が高まっている。 【総合計画 後期基本計画】 2.健康で生きがいを持てる暮らしの充実 (5) 学びによる生きがいの創出 ○指標 図書館入館者数 現状値 61,500人(令和2年度) 目標値 230,000人(令和7年度)	①利用者数の維持・増加のみを目的とするのではなく、利用者の満足度向上や多様なニーズの対応を重視し、各種イベントの実施や読書活動の推進に取り組みました。その結果、図書館を日常的に利用しやすい環境づくりが進み、令和7年度の入館者数は316,930人となり、前年度の277,347人と比較して39,583人の増加(約14.3%増)となりました。 ②地域情報の発信拠点としての役割を周知するため、身近な資料の収集やテーマ展示コーナーを活用して展示を行いました。 ③図書館ネットワークの充実とサービス提供の体制を図るため、市民協働センターみらいに「地域読書活動拠点」を設置しました。 ④毎月のイベント情報について、関支所、あいあい、みらい、加太駅への配布に加え、市役所本庁のサインページへも提供範囲を広げ、情報発信の充実を図りました。	①統計データや利用者アンケートの結果を分析し、多面的な視点から課題を把握し、令和8年度は亀山市立図書館サービス計画の見直しに伴い、内容を検証し、利用者満足度の向上につなげていきます。 ②今後の財政状況を見据え、今ある設備や人材を活かしながら、工夫を重ねたサービスの提供に取り組んでいきます。 ③まちづくり協議会や福祉施設等との継続的な意見交換を通じて、「地域読書活動拠点」としての取り組み方法や連携を検討していきます。 ④年齢に合わせたおすすめ本の紹介や、親子で楽しめるイベント情報を実させ、子どもから大人まで多くの人が読書に親しめる環境づくりを進めています。	
					2 図書館費のうち、一般管理費の決算額	95,307 千円					
					1 入館者数	316,930 人					
		2 貸出点数	301,020 点								
		個人貸出点数	286,736 点								
		団体貸出点数	14,284 点								
		居住地別貸出点数の偏差	10 点								
		年代別貸出点数の偏差	53,587 点								
		3 貸出人数	66,804 人								
		個人貸出人数	64,677 人								
		団体貸出数	2,127 件								
		居住地別貸出人数の偏差	26 人								
		4 予約件数	18,018 件								
		5 電子図書貸出・閲覧回数	72,194 冊								
	6 電子図書貸出人数	19,389 人									
	7 雑誌スポンサー制度活用点数	13 点									
	4 運営の健全化	1 リスクへの対応(訓練や危機管理研修の実施回数)	1 回								
	基本理念「学びの場からつながる場へ」	② 図書館サービス実施計画を着実に進めます	5 人材育成による職員の能力・資質向上			1 職員研修の受講回数	13 回	② 図書館サービス実施計画を着実に進めます	めざす姿 学びと交流の場となる図書館 社会的変化・成果 ・図書館における目的を委託事業者とも共有化し、スタッフプライドの意識が高い職員の育成が図られている。 ・地域へ定期的に訪問し、講座の開催や地域との連携による読書イベントが開催されている。 ・図書館ボランティアが、図書館職員とともに目的を共有し、自己の活動を魅力的に展開発揮している。 ・生涯学習支援として、市民活動成果の場など連携する企画数が増えている。 ・図書館サービスやお知らせなどわかりやすく得ることができるホームページやバスファインダーの情報発信が行われている。 ・図書館利用カードの新規登録者数が増加している。 ・図書館ボランティア団体の活動が毎年継続実施されている。 ・市民を中心とした利用者が、図書館サービスを理解し、サービスを楽しんでいる。	①図書館ボランティア、学校図書館司書、学校ボランティアに呼びかけ、「ステップアップわたしの読み聞かせ」と題した講演会や「ブックコーティング研修」を実施しました。これらの研修等を通じて、参加者の活動への意識向上につながりました。 ②定期的に開催しているイベントに加え、令和10年に迎える図書館100年プロジェクトに関連するイベントを開催しました。活動の様子はSNSを通じて発信し、図書館利用の促進につなげました。 ③図書館サービスの利用を広げるため、親子で楽しめる情報を配布し、市ホームページにも掲載しました。 ④社会見学や職場体験の受け入れを行い、体験項目に「ビブリオバトル」を組み込み、その魅力を伝えました。対象者は、主に小・中学生であり、今後は受け入れの拡充が求められます。 ⑤図書館からの情報発信として「としょかんだより」を年4回発行し、また新着図書やおすすめ本、各種イベント情報など分かりやすく紹介しました。利用者が図書館をより身近に感じていただき、来館や資料利用の促進につながるよう、継続的な情報提供に努めました。	①図書館が主体となる取り組みと、ボランティアに担っていただく活動の役割分担を明確にし、年間を通じた活動計画を共有することで、より効果的な協働体制を進めていきます。 ②これまでの共催イベントの実績から検証を行い、基本理念と整合しつつ、100年プロジェクトを継続し、利用者の参画機会の拡大につなげていきます。 ③利用者がレファレンスを身近に感じられるよう、案内方法や利用環境の改善に取り組み、気軽に相談できる体制づくりを進めます。 ④まちづくり協議会、市民団体、各部署等が実施する行事にあわせて、出張図書館を行い図書館サービスの提供や情報発信などを行い、読書活動の推進を行います。 ⑤「としょかんだより」の作成・発行について、情報発信の方法やツール等を整理し、内容の充実と発行タイミングの最適化を図ることで、分かりやすく効果的な情報発信を行います。
						2 受講職員による情報共有回数	13 回				
			6 市民交流			1 地域読書活動拠点訪問回数	14 回				
						2 行政出前トーク等職員派遣回数	2 回				
						3 図書館協議会開催数	2 回				
						4 図書館ボランティア会議等開催数	3 回				
5 交流イベント参加団体数						14 団体					
6 図書館ボランティア団体活動回数						63 回					
7 図書館ボランティア団体以外の活動回数						15 回					
8 行政連携展示件数						63 件					
7 情報発信					1 図書館ホームページへのアクセス数	82,997 件					
					2 図書館ホームページ更新回数	32 回					
					3 バスファインダー発行回数	0 回					
					4 ニュースレター発行回数	4 回					
8 図書館サービス認知度					1 レファレンスサービス	41.9 %					
					2 予約制度	85.5 %					
					3 リクエスト制度	76.0 %					
					4 データベース	50.0 %					
					5 返却お知らせメール	42.7 %					
					6 新着お知らせメール	41.9 %					
					7 電子図書館	64.8 %					
					8 座席予約サービス	87.2 %					
					9 フリーWi-Fi	86.3 %					

基本理念	実施方針	項目	測定項目	項目	活動指標	測定値 R7	実施方針	めざす姿・社会的変化・成果	評価	今後の対応
	蔵書計画に基づいた、図書資料の収集や保存を進めます	③	9 蔵書状況	1	蔵書数(4月1日時点)	182,172冊	③蔵書や保存に基づいた、図書資料の収集や保存を進めます	めざす姿 地域社会の情報源となる図書館資料の充実 社会的変化・成果 - 地域課題解決につながる情報や知識が得られる機能が高まっている。 - 各関係部署からの行政資料が蓄積されている。 - レファレンス業務の認知度が上がっている。 「私たちの亀山アーカイブ」の情報が更新されている。 - 地域に関するレファレンスが増えている。 - 多様な地域の情報が集まっている。	①蔵書数182,172冊となり、前年度比で4,880冊増加しました。計画に沿った資料収集が進んでいます。 ②電子書籍723点(内読み放題パック100点)、DL-マガジン319紙、合計1,042点となりました。学校連携の読み放題パックを更新し、タブレットを使用して朝読などに活用されました。電子図書資料の充実により、利用可能なコンテンツの幅が広がりました。 ③地域まちづくり協議会が発行する刊行物を収集し、さらに、行政資料を図書館に収蔵・配架する意識が共有され、資料保存体制の強化につながりました。 ④館内でのレファレンスに加え、メールによる問合せにも対応し、内容を図書館情報システム内にデータベースとして蓄積しました。前年度から220件のデータを蓄積し、今後の対応に活用していきます。 ⑤「私たちの亀山アーカイブ」については、作業が進まず、新たな年度内の更新には至りませんでした。 ⑥蔵書計画の延長と一部内容を追加する改定を行いました。	①②資料収集の重点、蔵書全体のバランス、利用者ニーズを踏まえ、計画的な資料収集を進めています。 ③地域の資料として収集した情報については、利用者が活用しやすいよう、効果的な配架方法を検討し、整備を進めます。 ④レファレンス情報の蓄積を継続し、データベースの充実を図ることで、より質の高いレファレンスサービスの提供に繋がります。 ⑤次年度に、文化に関する情報の更新を予定しています。 ⑥令和8年度に内容を見直し計画の改定を行います。
				2	図書資料年間購入冊数	4,891冊				
				3	寄贈資料登録冊数	898冊				
				4	雑誌年間購入種類	77種類				
				5	新聞年間購入種類	11種類				
				6	電子書籍コンテンツ数	1,042件				
				7	年間受入数	4,891件				
				8	ひみつ本更新回数	0回				
				9	行政資料収集周知回数	0回				
	子どもの読書活動を推進します	④	10 子どもの読書活動推進状況	1	中高校生の企画運営参画イベント実施回数	1回	④子どもの読書活動を推進します	めざす姿 読書を通して希望に輝く心豊かな亀山の子どもたち 社会的変化・成果 18歳以下の図書館利用カード登録者数が増加している。 - 乳幼児連れの家族のイベント参加者が増加している。 - 図書館が学校や幼稚園等の社会見学や遠足に利用をされている。 - 学校との連携企画によるイベントが常態に行われている。 - ボランティアの子どもに向けた活動スキルが向上している。 - 本好きな子どもが増えている。	①保育園や幼稚園を訪問し、読み聞かせや手遊びを行うことで、園児たちに絵本の楽しさを伝えることができました。子どもたちが本に親しむきっかけをつくり、読書への関心を高める時間を提供しました。 ②行政機関や市民活動団体と連携し、共催イベントを実施しました。関連図書の展示等を通じて、子どもたちが本に触れる機会を広げ、読書の魅力を伝えることができました。 ③図書館の本を学校図書館で借りることができる「ほんくる。」について、整備された運用体制のもと、学校との連携を図りながら継続して実施しました。 ④図書館の空間を活用し、学校に行きづらさを感じる児童生徒の居場所として「サークルルーム」の取組を進めました。 ⑤子どもたちの発達段階に応じた本やイベントの情報発信を行い、読書支援を行いました。 ⑥電子図書館の読み放題パックを更新し、児童・生徒が活用できる環境を継続しました。 ⑦新入学の高校生に利用案内や利用カードの作成の働きかけにより、若年層の利用促進につながる取組を行いました。	①子どもたちの読書習慣を定着させるため、図書館と乳幼児施設と学校等が連携し、幼少期から継続的に読書に触れる機会を拡充しながら、読書活動の推進に取組めます。 ②子ども向け、大人向けのイベント開催に偏りがなく、対象年齢や内容のバランスを考慮した企画立案を進め、多様な世代が参加しやすい環境づくりを図ります。 ③「ほんくる。」の利用促進に向けて、図書館のおすすめ本の情報の提供などを進めます。 ④図書館が児童生徒の安心できる居場所として機能するよう、サークルルーム等の取組内容や利用方法について情報を発信し、利用促進を図ります。 ⑤子どもの発達段階に応じたおすすめ本の紹介やイベント情報の発信を継続していきます。 ⑥電子図書館コンテンツの更新や増書が求められる、日常的な読書活動に活用できる環境づくりを進めます。 ⑦視察や社会見学の機会を活用し、図書館の利用につながる機会を提供します。
				2	子ども向けテーマ展示回数	49回				
				3	18歳以下の新規登録者数	892人				
				4	18歳以下の年間貸出冊数	95,207冊				
				5	保育所等への出張よみかせ等の訪問回数	19回				
				6	子育て支援センターサテライトの開催数	24回				
				7	ほんくる。利用の貸出点数	122点				